

ESG 投資を行う機関投資家とのダイアログ

百聞は一見に如かず！

ロンドンとニューヨークを舞台に繰り広げる ESG 投資家（シェアホルダー）とのダイアログセッション

2017年7月30日～8月4日



■ スケジュール（予定）

- 2017/7/30 日本発⇒LDN 着
- 2017/7/31 CHRB について
ESG 投資家とのダイアログ
- 2017/8/1 LDN 発⇒NYC 着
- 2017/8/2 ESG 投資家とのダイアログ
- 2017/8/3 NYC 発⇒日本着（8/4）

■ 参加費

- 一人目：650,000 円（税抜）
- 二人目：600,000 円（税抜）
- 宿泊、朝食及び通訳代は参加費に含まれています。
なお、交通費、昼食&夕食代は含まれていません。

■ 参加申込 URL

<https://business.form-mailer.jp/fms/87492d4e65746>

■ 日英逐次通訳

■ 第 1 回応募締切

2017年4月28日（金）

株価に無形資産をどう反映していくのか？

企業価値を向上していくためには、有形資産と無形資産の融合が欠かせません。現在の株価に最も大きく影響を及ぼしている企業の無形資産について、どのように企業側が対処すべきか明示できずに戸惑っています。こうした中で、昨今欧米の機関投資家が熱い視線を注いでいる分野はどこだかお分かりでしょうか？

その分野は、国連が 2011 年に定めた「ビジネスとヒューマンライツの指導原則」です。そして、この指導原則の手順を企業がどこまで経営と一体化した形で、取り組んでいるかどうかを厳しく ESG 投資家が評価しています（Corporate Human Rights Benchmark）。

今回は、ロンドンとニューヨークで ESG 投資を行う機関投資家とダイアログを実施して、本音で彼らが何を考えているか直に話をお聞きし、今後注目される無形資産のベンチマークやランキングの動向を探りましょう。



Corporate Human Rights

CHRB は、Institute for Human Rights Business（IHRB）、Calvert Investment, Business and Human Rights Resource Centre（BHRRC）、The Dutch Association of Investors for Sustainable Development（VBDO）、VegeoEIRIS、AVIVA Investors、そして日本では QUICK ESG 研究所と CRT 日本委員会の 2 団体で CHRB ドキュメントの和訳作業を実施し、日本での浸透普及に向けた活動を積極的に展開します。

CHRB を理解していくための 取り組みステップアップ

QUICK ESG 研究所と CRT 日本委員会では、日本企業が世界の動向を見極めていけるように的確に皆さまに最新情報を提供させていただきます。そして、その情報リソースに基づき、各社・各自でご判断し、実践していくために必要な取り組みについてもサポート致します。特に ESG 投資家や機関投資家とのダイアログをする際には、CHRB の考えを正しく理解していくことからスタートしましょう。

2016 UN Forum on B&HR での発言 AVIVA Group, CEO, Mark Wilson

“Do the RIGHT thing!” ⇒ データ、ベンチマーク、ランキング

CHRB のフレームワークと今後の予定

■ CHRB のフレームワークは、以下の4つの観点でデザインされています。

- ①すでにベンチマーク企業で公表されている様々な情報（例えば、Access to Medicine Index や Oxfam の Behind the Brands）を基に策定されています。
- ②UN Guiding Principles on Business and Human Rights に基づき、CHRB のベンチマークが策定されています。
- ③包括的な観点で捉えることもでき、まだ業界毎にどのようなヒューマンライツ課題に着手すべきか、具体的に明記されており、英国現代奴隷法に向けて対処していくために参考になります。
- ④企業がヒューマンライツ課題の解決に向けた取り組みとして、方針・政策、意思決定のプロセス、実際の取り組みといったことが盛り込まれています。

■ これまでの取り組んできたことと今後の予定

- 2016年12月 QUICK ESG 研究所と CRT 日本委員会による CHRB の和訳作業完了予定
- 2016年12/13 機関投資家や IR 部門を対象に、「人権課題への取り組みと企業価値～責任投資（ESG）におけるマテリアリティ～」セミナーを開催（主催：QUICK ESG 研究所）
- 2017年1-5月 2020年東京オリンピックを見据えた「苦情処理メカニズム勉強会」のワークショップ開始
<http://crt-japan.jp/blog/2016/10/24/grievance-mechanism-study-workshops-2/>
- 2017年2/17 VigeoEIRIS の Mr. Peter Webster を招聘しワークショップを開催
- 2017年3-4月 CHRB 勉強会（実践編：シリーズ形式、予定）
 - ・人権方針、トレーニング、ステークホルダーエンゲージメント、人権デューデリジェンス、レポート、苦情処理メカニズムなど
- 2017年5-7月 ステークホルダーエンゲージメントプログラム（タイ、マレーシア、ミャンマー、日本）
- 2017年7-8月 ESG投資家向けダイアログツアー
 - ・欧州（ロンドン）：CHRB、Aviva Investment, VigeoEIRIS, Verisk Marplecroft など
 - ・米国（ニューヨーク）：Calvert Investment, NYU Stern Center for Business and Human Rights など
- 2017年9月 ビジネスとヒューマンライツに関する国際会議 in 東京（9/15）
 - ・世界の HR イニシアティブ団体が来日し、日本での CHRB 動向について説明
- 2017年11月 Forum on Business and Human Rights in Geneva
 - ・国連の国際会議（2016年：2,500人、250カ国）で CHRB の動向について情報発信

<お問い合わせ先>

QUICK ESG 研究所 : esg.mkt.ug@quick.jp
CRT日本委員会 : info@crt-japan.jp